



説  
國日本の國際  
情勢と海軍

(中)

又米國は一八九九年(明治三十二年)國務卿ジョン・ヘイの東洋門戸開放、機会均等宣言以來、支那に於け第三國の特殊権利の不認へるが如きは厭ふ所にあらへば死は厭ふ所にあらへる。即ち朝に夕に演習又演習、眞に心頭を滅却し而起しむるの懲りありと謂ふて是の如きも斯る事情を背景として成立したものであつた。

## 潜水艦で暗礁となる

## 三大海軍國會議

## 約款の解釋に疑義生じ

米國は英吉利案に追従す

(ロ) 繁盛以上のもの

(メ) 建造中のもの

(ハ) 船舶のもの

(イ) 修理費のもの

(二) 船舶の修理費

(三) 船舶の修理費

(四) 船舶の修理費

(五) 船舶の修理費

(六) 船舶の修理費

(七) 船舶の修理費

(八) 船舶の修理費

(九) 船舶の修理費

(十) 船舶の修理費

(十一) 船舶の修理費

(十二) 船舶の修理費

(十三) 船舶の修理費

(十四) 船舶の修理費

(十五) 船舶の修理費

(十六) 船舶の修理費

(十七) 船舶の修理費

(十八) 船舶の修理費

(十九) 船舶の修理費

(二十) 船舶の修理費

(二十一) 船舶の修理費

(二十二) 船舶の修理費

(二十三) 船舶の修理費

(二十四) 船舶の修理費

(二十五) 船舶の修理費

(二十六) 船舶の修理費

(二十七) 船舶の修理費

(二十八) 船舶の修理費

## 單

## 稅金で聖州は

## 國內第一位

## 社會

## 告

## 農業への金融機關

## 農業機関として海外における労力によつて土地を利用

## 大觀小觀

## 害虫驅除劑には

## 料肥合配

## 果實用

## アルゴドン用

## 米糠

## シユンボ

## アルセニヤデ

## スルビア

## グランデ

## スル州人の

## ダララニ

## サンパウロ州ヨ

## ヤ博覽會にサンパウロ州ヨ

## 日本政府は六月十五日附

## 以降の留保に依つてこれが十

## 九月十日と日本は十三

## 万三千トンとなるが潛水艦

## は日本共に五万二千七百ト

## ント

## 日本は更にナイン

## 千二百九十八トントとなる譯

## シナ

## が、日本は断然の意を示す

## 伯國品見本市

## おいて労力及び人口の分布

## を計り、而して工業の集團

## によつて當然來る社會問題

## に於て非常に重要視され出張

## を未然に防止し、同時に農

## 地の開發を進める事

## に於て明確な民衆の誘

## 導され各方面の人氣を呼ん

## だが京濱兩市の貿易業者は

## ヨーロッパの新販路

## 開拓された結果、兩州の間

## に成立したと傳へられるが

## 此の如きは

## ヨーロッパの新販路

## 開拓した事実である。

## 斯くより帝國艦隊の手に掌

## 握せられたが、英國の

## 艦隊士氣等が斷然の意を示す

## が、日本は断然の意を示す

## 邦人のスタイルにシツクリ合ふ技術体位

## 富源を開發し耕作地方に

## 堅固なる方針をとのモット

## 1とせねばならぬ

## 地方産業組合

## の機会につけて解釋せ

## を計り、而して工業の集團

## によつて當然來る社會問題

## に於て非常に重要視され出張

## を未然に防止し、同時に農

## 地の開發を進める事

## に於て明確な民衆の誘

## 導され各方面の人氣を呼ん

## だが京濱兩市の貿易業者は

## ヨーロッパの新販路

## 開拓された結果、兩州の間

## に成立したと傳へられるが

## 此の如きは

## ヨーロッパの新販路

## 開拓した事実である。

## 斯くより帝國艦隊の手に掌

## 握せられたが、英國の

## 艦隊士氣等が断然の意を示す

## が、日本は断然の意を示す



讀者の聲

強化か恐化か?

ものは没書

らず切却せず、此規定に反する

ものには没書

本社迄は必ず住所氏名を通知し置く

事原稿は七百字以内取扱の如何に拘

らす切却せず、此規定に反する

ものは没書

本社迄は必ず住所氏名を通知し置く

日本工業品の進出目ざまし

漸次重工業品来る

タイヤだけでも一万五千

重工

棉花

人効車行列

想

原

政府本腰となる

實現を期待する

アルセニック

農業金融に

政府本腰となる

實現を期待する

アルセニック